

県内の施設野菜等に関する4月の天候不順の対策について

平成27年4月15日 産地・流通支援課  
環境農業推進課

1. 気象概況

- ・ 3月31日より、4月中旬までほぼ連続して降雨があり、日照時間も晴れば10～11時間程度あるところが、0～3時間程度しかない状況にある。
- ・ 例年3月中旬頃から4月上旬にかけて、高気圧が北に片寄ると、日本の南岸沿いに前線が停滞し、関東以西では梅雨どきのような雨が降り続く。いわゆる「春の長雨」（「なたね梅雨」も同義）であるが、3月の長雨より外気温は高く、ハウス内温度もその分高く推移するため、ハウス管理も難しい状況にある。

2. 品目別の影響（4/9PM～ 電話にて概要の聞き取り、FAXにて報告、その後順次情報収集）

品目	天候不順の影響	品目	天候不順の影響
施設ナス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒枯病など、病害多発。</li> <li>・ 着果不良：花が確実に（「激しく」に近い印象で）落ちている。</li> <li>・ 収量も落ちている。</li> <li>・ 果実の着色も悪い。</li> </ul>	施設 キュウリ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病害が目立っている。（灌水を控えているせいか、現場ではうどんこ病が多いとの話しもある）</li> <li>・ 生理落果や幼果のまま発育しない果実が目立つ。果形も悪い。</li> <li>・ 天候不順や灌水を控えたことによる草勢低下。</li> </ul>
施設 ピーマン・ シシトウ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黒枯病など、病害多発。</li> <li>・ 着果不良：花が咲いていても十分発育しない、弱い花が多い。</li> <li>・ 収量も落ちている。</li> </ul>	施設 インゲン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灰色かび病など、病害が多い。天候不順で殺菌剤（&amp;殺虫剤）の散布もしにくい状況が続いている。</li> <li>・ 幼果のまま黄化して発育しない果実が目立っている。</li> </ul>
施設ニラ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軟弱徒長。</li> <li>・ 病害の被害拡大。</li> </ul>	施設花き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灰色かび病など、病害の被害拡大。</li> <li>・ 軟弱徒長。</li> <li>・ ブラスチング（落蕾・花数減少）や花のボリューム減衰。</li> </ul>

2. 天候不順の影響・対策（概要）

※ ○印は、腐敗防止対策

項目	天候不順の影響	天候不順の期間中の対応策	天候回復後の対応策
施設野菜 施設花き	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハウス内の（高温）多湿と日照不足からくる軟弱徒長による病害の多発。降雨日に防除を控えることも悪影響。</li> <li>・ 日照不足による落花、幼果の発育不良による収穫量の減少。</li> <li>・ ナメクジの茎葉や果実等、収穫物への被害が顕在化。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 残さは、病害発生の原因になるので、ハウス外に持ち出す。</li> <li>○ 晴れ間を見て、古い茎葉を整理（剪除）して受光条件や通風性の改善を図り、殺菌剤の散布（必要に応じて殺虫剤の混用）を行う。</li> <li>○ 雨天日や日中にハウス内湿度が高い場合は、ハウスのサイドをわずかにすかし、ボイラーを稼働させて湿度を抜く。</li> <li>○ 病害の被害を受けた収穫物が商品に混入しないように、丁寧な選別を心がける。</li> <li>・ 降雨日は、基本的には灌水を控えるが、灌水しない日が続くと草勢の低下を招くので、晴れ間（やむを得ず曇天日でも可）を見て灌水（追肥）を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 黄葉、古い茎葉の整理（剪除）。</li> <li>・ 出荷できない果実の剪除。</li> <li>・ 灌水（追肥）量や灌水間隔を通常のレベルに戻す。</li> <li>・ 葉焼け、芯焼け等防止のために、ハウスの天窗やサイド換気により、ハウス内の急激な温度上昇を避ける。また、遮光資材がある場合は、資材を一部展開しながら徐々に開放して日差しに慣らしていく。</li> <li>・ 病害虫の防除を行う。</li> </ul>
露地野菜	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 降雨、日照不足による灰色かび病、軟腐病など、病害の多発。</li> <li>・ 日照不足による軟弱徒長。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 病害の被害を受けた収穫物が商品に混入しないように、丁寧な収穫・選別を心がける。</li> <li>○ 晴れ間を見て、殺菌剤の散布（必要に応じて殺虫剤の混用）。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 病害虫の防除を行う。</li> </ul>